

## 新たな組織体制と中期経営戦略のもと 着実な構造改革で収益を拡大しています

### Q1 当第2四半期の業績を総括してください。

当第2四半期における当社グループの連結業績は、売上高22,052百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益2,439百万円（同26.8%増）、経常利益2,508百万円（同26.8%増）、四半期純利益984百万円（同9.8%増）となり、売上高、利益とも期初計画を上回りました。

売上高では、4つの事業セグメントで前年同期に対して増収となりました。とくに、国内CRO・CSO事業の計画を上回る好調がグループ業績を牽引しています。利益面では、国内CRO事業でのプロジェクト管理強化による収益性改善が寄与しました。

### Q2 各セグメントはどのような概況ですか。

#### 国内CRO事業

国内CRO事業は、売上高12,415百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益※2,862百万円となりました。モニタリング業務とデータマネジメント業務において、新規案件の受注、既存案件の進捗がともに順調に推移し、増収増益を牽引しました。

※持株会社移行に伴い費用配分方法を変更したため、営業利益の対前年同期比は記載していません。

#### 国内SMO事業

国内SMO事業は、売上高3,127百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益317百万円（同33.3%減）となりました。プロジェクト管理体制と営業体制の強化を図り、業績拡大と業務効率改善に努めましたが、第1四半期の計画の遅れを取り戻すまでには至りませんでした。

#### 国内CSO事業

国内CSO事業は、売上高3,372百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益208百万円（同73.4%増）となりました。PMS部門で人件費の変動費化、効率向上のための業務標準化など、事業再構築に取り組み、利益率が改善しました。

#### Global Research事業

Global Research事業は、売上高1,197百万円（前年同期比11.9%増）、営業損失149百万円（前年同期は158百万円の損失）となりました。前期までに受注した大型案件の売上計上によって増収となりました。

## 益新事業

益新事業は、売上高2,013百万円(前年同期比27.6%増)、営業損失122百万円(前年同期は172百万円の損失)となりました。医療機器関連商品の販売が好調に推移し、営業損失が前年同期から減少しました。

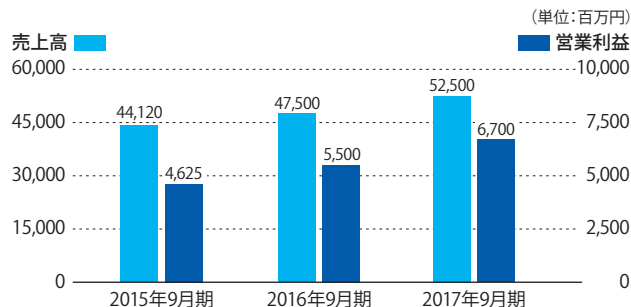
### Q3 通期の見通しを教えてください。

当社グループは2014年11月、2017年度を最終年度とする中期経営戦略を策定しました。事業の再構築により、2017年9月期にグループ売上高525億円、営業利益67億円の達成を目標としています。

また中期経営戦略の一環として、2015年1月に持株会社体制に移行しました。新体制のもと、中期経営戦略の目標達成に向けて各事業セグメントの自立・自律経営体制の確立、グループマネジメント機能の強化、シェアードサービスによる管理事務機能の効率化を進めています。

中期経営戦略の1年目にあたる当期の業績は、計画通

#### 中期数値目標



り売上高44,120百万円、営業利益4,625百万円を予定しており、順調に進捗しています。下期も一層の業績拡大、業務効率化を進める決意です。



代表取締役 代表執行役員会長 **厳 浩**

1962年生まれ。中国江蘇省出身。1979年天津大学に入学。1981年中国国費留学生として山梨大学、東京大学(大学院博士課程)で医学統計を専攻し、臨床試験にかかわる研究・実務に従事。東京大学大学院在学中の1991年、当社を創業。創立10周年に当たる2001年に株式をジャスダックに上場。2006年9月、東証一部へ上場。